

64 乳頭糞線虫症

担当	検査チャート
家畜保健衛生所	<pre> graph TD A["(1) 疫学調査"] --> D["(4) 糞便検査"] B["(2) 臨床検査"] --> C["(3) 剖検"] B --> D C -- "(死亡牛)" --> D C --> E["<成虫検査>"] C --> F["<幼虫検査>"] D --> G["(+)"] D --> H["(-)"] </pre>
病性鑑定施設	
判定・結果	<p style="text-align: center;">(+)</p> <p style="text-align: center;">(-)</p>
最終判定	疫学調査、臨床検査の結果を基に糞便検査により、死亡牛では剖検の結果を併せて本病とする。
その他	

→類似疾病検査

- ① 2 炭疽
- ② 22 気腫疽
- ③ 3 出血性敗血症
- ④ 急性鼓脹症

○ 病原体:乳頭糞線虫 *Strongyloides papillosus*

(1) 疫学調査

- ① 2～3ヵ月齢の子牛に多発
- ② 和牛での突然死型の発生は少ない。
- ③ 夏季にオガクズ牛舎で群飼している子牛に多発

(2) 臨床検査

- ① 呼吸促迫、痙攣、奇声を伴う突然死
- ② ときに痒覚(特に蹄冠部)

(3) 剖 検 (成虫検査、幼虫検査)

- ① 四肢、蹄冠部、体表の発赤、び爛、痂皮
- ② 小腸粘膜面の充血など腸管病変(必発ではない。)
- ③ 十二指腸などの小腸で雌虫体の確認(成虫検査)
- ④ 肺、下顎筋、左右前肢筋での体内移行幼虫の確認(幼虫検査)

(4) 糞便検査

- ① 浮遊法による虫卵検査
- ② 虫卵培養法(ポリ袋あるいは瓶培養法による幼虫の検出)